

## 「ヘルプマーク」を取り入れた JIS Z8210 改正（案）（抜粋）

JIS  
Z 8210 : 2002

## 案内用図記号

## Public Information Symbols

**序文** この規格は、不特定多数の人々が利用する場所、建物、印刷物などに、言葉によらない表現による“案内”に用いる図記号を規定したものである。今日、人及びものの国際交流が増大する中で、文字・言語の壁を超えて情報伝達を図る手段として、案内用図記号の果たす役割は重要である。

**1. 適用範囲** この規格は、不特定多数の人々向けの案内に用いる図記号を規定する。案内用図記号を用いて情報を伝えることが好ましい領域は、例えば、公共・一般施設、交通施設、特定の場所・建物、観光、商業・小売店など、あらゆる施設のほかに、さまざまな地図、案内板、標識、印刷物などである。

なお、この規格ではヘルプマークについて附属書〇で規定する。

**備考** この規格は、工業生産される標識板などの作成に関して適用されるものであるが、それ以外の方法、例えば、印刷する、画像で表す、など何らかの表現方法によって表示されるものにも適用される。

なお、機器・装置用図記号は除く。

**参考** 図記号に関する定義及び原則には次の規格があり、この規格の適用に当っては手引きとして用いるとよい。

- a) 図記号の理解度試験方法 (ISO 9186 : 2001)
- b) 案内用図記号の制作及び適用 (ISO/TR7239 : 1984)

**2. 定義** この規格に用いる主な用語の定義は、次による。参考として対訳英語を示す。

- a) **図記号 (Graphical symbol)** 言語から独立して情報を伝える一つの意味をもつ、視覚的に知覚される図形。
- b) **案内用図記号 (Public information symbols)** 不特定多数の人々に対して情報を伝えるためにデザインされた、専門的又は職業的訓練なしでも理解される図記号。
- c) **表示事項 (Referent)** 図記号によって表そうとする概念、意味又は対象。
- d) **図材 (Image content)** 図記号で表そうとする視覚的要素とその配置関係。
- e) **機能 (Function)** 図記号を使用する意図又は目的。











3. 案内用図記号の分類 案内用図記号の分類は、表 1 による。

表 1 案内用図記号の分類

案内用図記号－施設など	公共・一般施設図記号	不特定多数の人々が利用する施設，サービスなどを表す図記号
	交通施設図記号	交通に関わる施設，サービスなどを表す図記号
	商業施設図記号	商業に関わる施設，サービスなどを表す図記号
	観光・文化・スポーツ施設図記号	観光・文化・スポーツに関わる施設，サービスなどを表す図記号
案内用図記号－安全など	安全図記号	安全確保のための防火，危険，誘導設備及び場所を表す図記号
	禁止図記号	一般の行動において禁止事項を表す図記号
	注意図記号	一般の行動において注意事項を表す図記号
	指示図記号	一般の行動において指示事項を表す図記号

4. 案内用図記号—安全などに用いる基本形状、色及び使い方 安全、禁止、注意及び指示図記号に用いる基本形状、色並びに使い方は、表 2 による。

表 2 安全、禁止、注意及び指示図記号に用いる基本形状、色並びに使い方

種類	基本形状	色	使い方
安全	防火・危険		正方形の内部を赤で塗りつぶす。
	誘導		正方形の内部を緑で塗りつぶす。又は白地に緑の図材とする。
禁止		円及び内部の斜線部分は赤とし、その他は白とする。	基本形状の使い方は、次のとおりとする。 (1)  の形状の中に具体的な禁止事項を意味する図記号を黒色で図示する。  は図記号にかぶせる。 (2) 図記号を用いず、文章などを併用する場合は、その文章などに  を添える。
注意		三角の枠部分は黒とし内部は黄とする。	 の形状の中に具体的な注意事項を表す図記号を黒色で図示する。
指示		円の内部を青で塗りつぶす。	 の形状の中に具体的な指示事項の図記号を白系統色で図示する。

(以下、省略)

## 附属書〇（規定） ヘルプマーク

### 〇. 1 一般

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、又は妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方がいます。そうした方々が、**身に着け**、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるように~~東京都が平成 24 年 10 月に作成した~~ヘルプマークを JIS 化しました。これによって、**ヘルプマークが全国的に普及し、援助や配慮が必要な人がいることへの気づきや思いやりのある行動を促進することが啓発が促進されることが期待できます。**

### 〇. 2 ヘルプマーク ヘルプマーク<sup>(1)</sup>は附属書〇〇表 1 による。

注<sup>1)</sup> 本体の**表 1** 及び**表 2** の適用は受けない。

附属書〇〇表 1 ヘルプマーク

番号	表示事項	図記号	記事
〇〇.1	ヘルプマーク		<p>図材： 十字マークとハートマーク。</p> <p>機能： 援助や配慮を必要としている方が、身に着けることで、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができる表示。</p> <p>注記 公共交通機関、公共施設などへ掲示する活用例もある。</p>

---

参考文献 ヘルプマーク作成・活用ガイドライン（東京都福祉保健局障害者**施策施設**推進部計画課）  
 ヘルプマークホームページ <http://>  
 ヘルプマーク（企業・事業者向け）ホームページ <http://>  
 ハートシティ東京ホームページ <http://>